

2020年  
(令和2年)

10月20日

(第三種郵便物認可)  
昭和23年4月15日  
(毎週火曜日発行)

### 今号の特集

- ▷中京地区  
有力ブランド特集 ④～⑧面
- ▷量販企業第2四半期 ②面

中部飲食料新聞社ホームページ  
<http://chuin.net/> [業界情報発信中]



日新蜂蜜株式会社

第3388号

発行所  
中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9  
電話 (052)571-7116代表  
FAX (052)571-7118

東京支局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203  
電話 (03)5614-7531  
FAX (03)5614-7532

# 中部 大正から 飲食料新聞 食を伝えて100有余年

## 中部量販店 9月度実績

# 様々な要因絡み合う

## 駆け込み需要の反動など表れる

東海エリアの主要量販企業の9月度の実績が出揃った。各社とも新型コロナウイルスの影響による来店客数減・客単価増の傾向は継続しているものの縮小傾向にあり、GMの縮小傾向にあり、MSの落ち込みも回復傾向にある。また、前年10月に消費税の増税があり、食品は軽減税率の対象であったが酒類などで駆け込み需要が発生しており、その反動が生じている。さらに今年は酒税法改正があり新ジャンルなど需要増が見られたほか、タバコの値上がりに対応したまとめ買いが散見された。曜日は日曜日の数は同じであるが土曜日は1日減となる。20日締め企業では土曜日イスカウント業態の移管

9月度実績 (前年同月比)

企業名	全店	9月		前年9月	
		全商品	来店客数	全商品	来店客数
ユニー (末日締め)	全店	86.0	98.4	96.4	102.1
	既存店	105.8	105.6	94.6	111.7
ヤマナカ (20日締め)	全店	100.9	102.0	93.7	108.8
	既存店	104.0	101.6	94.0	108.1
パロー (末日締め)	全店	106.7	105.4	96.3	109.4
	既存店	109.4	109.4	96.3	109.4
MV東海 (末日締め)	全店	106.7	105.4	96.3	109.4
	既存店	109.4	109.4	96.3	109.4
オークワ (20日締め)	全店	106.7	105.4	96.3	109.4
	既存店	109.4	109.4	96.3	109.4

※9月度期間=20日締め企業は8月21日～9月20日、末日締め企業は9月1日～30日

### 大塚食品

## 「大豆ミート製品」にて 特色JAS規格化を開始

大塚食品は農林水産省が進める新たなJASマークである特色JAS規格において、「大豆ミート製品」の規格化の検討をスタートしている。大豆ミート、肉代替食品、プラントベースミートなどの製品は、食糧不足や家畜などに比べ環境負荷が少ないこと、さらにはコロナ禍の健康意識のさらなる高まりなどから世界的に注目され、市場が急拡大。日本でも外食チェーンに採用されるなど今後も需要増、市場拡大が見込まれている。大塚食品は人口・環境・健康の課題解決なども含め、18年に大豆でつくった肉不使用の「ゼロミート」

「大豆ミート製品」規格化を消費者に「大豆ミート製品」を、より分かりやすく理解してもらうことを目的に、農水省の「JAS規格で家庭用の「大豆ミート製品」の規格化を目指すこととした。消費者に分かりやすい「大豆ミート製品」規格を策定することで、さらに大豆ミート製品の認知度や価値向上を促し、日本の同市場成長の一助になることを期待する。

### Mizkan

## 京都市「もったい鍋」共同開発と連携

ミツカングループは京都市と連携した食品ロス削減のための取組みの第一弾として、鍋メニュー「もったい鍋」12種類を共同開発した。同社と京都市は20年8



### 特色JASマーク

なおJAS制定等に関する手続きの進捗状況は、農水省のサイトで随時確認できる。

### 味の素社

## 東京北区と中京発祥の「ラブベジ」PJでコラボ

味の素社と東京都北区は、区民の野菜摂取量向上の普及啓発事業「東京北区マイベジプロジェクト」を開始した。両者は17年に「東京都北区と味の素との区民の健康づくりに関する包括連携協定」を締結。相互

やMV中部の吸収合併などの影響が一巡した。9月は上旬から中旬にかけては残暑が厳しく高温傾向が続いたが、下旬からは気温が下がり秋物商材の動きが活発化。高値推移が続いていた野菜についても気温の低下と同調するように落ち着きを取り戻した。新型コロナウイルス対策による家庭での調理機会の増加で生鮮3品は好調が続いた。一方、デリカは来店頻度の減少などで動きが鈍いが、春夏と比べると回復傾向にある。

### 納豆商品7品価格改定

Mizkanは納豆商品7品の価格を12月1日より改定する。改定商品は「金のつばふくらな」と3P「くめ納豆北海道納豆ミニ3」などで改定率は10・8〜12・7%の値上げ。納豆商品においては製造コストが高騰し企業努力では吸収できない状況にあり、今後も高品質で安全・安心な商品を継続して供給していくため、一部納豆商品の価格改定を決定した。

### はごろもフーズ

## はごろも商事を吸収合併

はごろもフーズは、連結子会社のはごろも商事(株)を10月13日付で吸収合併した。はごろもフーズを存続会社とする吸収合併方式で、はごろも商事は解散する。はごろも商事は進物用品の製造販売などを事業として展開していたが、経営資源の集中と効率化による事業価値向上を目的として吸収合併した。

### 街角経済

## 如何ポナナス話題

「コロナ不況」が続いてきたが、秋の深まりから年末に向かつて今年の収益不足を補わなければならない。それが無理ならば、残念ながら年末ポナナスの期待は薄くなる。ポナナスは一般的には業績と比例するもの。これは小売店での売上に始まり、問屋も影響を受ける。だから問屋も小売店も一体になつて年末商戦を頑張らなければならない。参考に見れば、国家公務員の2020年度の給与改定では、人事院はポナナスを0・05か月分引き下げるよう勧告している。マイナス勧告はリーマンショック後の2010年度以来で、10年ぶりのことである。

たことを発表した。同社は同研究成果を用いたエタノール製剤をいち早く市場に提案しており、消毒用の高濃度エタノールの需給が逼迫するなかで、需給緩和に寄与するなどの効果が期待されている。今後同社は研究を深化させ、製品とサービスを通じた社会貢献に努めていく。

「精神を大切にすることも大事なことを期待して、気投票キャンペーン」を開始している。開発担当者のMizkanのメニュー企画課・柳圭氏は「従来のメニュー開発から発想を転換し、家庭にある食材をどう使い切るかの視点でレシピを考案した。美味い鍋を楽しみながら食品ロスを減らせるよう工夫したので試して欲しい」とコメント。また、京都市のごみ減量推進課・小野利恵氏は「京都市はごみの削減、食品ロスに力を入れており、ミツカンなどの協定や取組みでさらに推進していく。今回の「もったい鍋」の実践で、より一層「もったい」な

からだにうれしい、ごまかけ習慣

ShinSei

すべての人を笑顔にしたい

皮むきタイプ いりごま 130g

うまがほじ 75g

クラッシュアーモンドすりごま 30%